

多古こども園

通信

3月の
ひとコマ

このコーナーでは、平成26年4月からスタートした「こども園」で、いきいきと過ごす子どもたちの様子や、園の施設などを皆さんに紹介します。

卒園式

(3月18日)



音楽が流れる中、胸に花をつけしつかりとした足取りで入場してきたのは5歳児101名、こども園最初の卒園児となる皆さんです。新しい園舎に迎えられる、このホールで入園式を行ったのがついこの間のことのようにです。

園歌を大きな声で歌ったあとは卒園証書授与です。名前を呼ばれ大きな声で「はいー」と返事をし、登壇して園長先生から卒園証書が手渡されました。証書をしつかりと受け取り、堂々と歩く姿は、さすがは年長さんです。



編集後記

★5月号に載せる記事を取材しました。町内各小学校の2年生による「鮭の稚魚の放流」です。体長7cmほどに成長した稚魚は、栗山川を下り大海へたどり着き大きく成長すると、放流された川へ戻ってきます。4年間かけて約1万キロの旅をして帰ってくると栗山川漁業協同組合の会長さんは子どもたちに説明しているのを脇で聞きながら、「誰に教えてもらうわけでもないのに、よく間違わずに帰ってくるものだ」と生物の不思議・神秘を考えていました。★春は、何かと宴席が多くなります。昔ほど多くの量は飲めなくなりませんが、たまには記憶が無くなることも…それでも翌朝には不思議とちゃんと布団の中で目を覚まします。帰業本能があるのでしょうか…。

★多古町のマスコットキャラクターは覚えていただけましたか？町の花のあじさいを頭に付け、人懐っこくて癒し系のお米の妖精「ふっくらたまごさん」は、知名度を上げようとテレビ番組の収録で踊ったり、千葉テレビの街角クイズに出演したりと売出し中です。ということでも、「広報たこ」でも、どんどん登場してもらおうと画策しています。♪今月から表紙にもちよんと載りますので、皆さん応援よろしくお願いします。★春は卒業式など別れの季節でもあり、新たな生活がスタートし出会いの季節でもあります。🐾も新しい出会いに向かってレッツゴー♪(なぜ体が重い？冬太り!?イヤー!!)